
【NITEケミマガ】NITE化学物質管理関連情報 第99号

2012/06/20配信

本メールマガジン【NITEケミマガ】(NITE化学物質管理関連情報)は、化学物質管理に関連するサイトの新着情報、報道発表情報等を配信するサービスです。

原則として、毎週水曜日に配信いたします。

なお、本メールマガジンは平成24年度独立行政法人製品評価技術基盤機構委託業務として、みずほ情報総研株式会社に記事作成を委託しております。

ご連絡先: chem-manage@nite.go.jp

----- 6/13~6/20までの更新情報 -----

●製品評価技術基盤機構(NITE)

【2012/06/11】

- ・「生活安全ジャーナル」第13号のダウンロードを開始しました。

→ <http://www.nite.go.jp/jiko/journal/index.html>

製品安全の情報を総合的に提供する製品安全広報誌(第13号(平成24年6月号))を掲載しました。内容は、

<特集 化学製品関連の事故>

- (1)NITEデータベースにみる ～化学製品関連の事故
 - (2)シックハウス訴訟の現状と動向
 - (3)生活用品からの放散化学物質測定方法と測定事例
 - (4)皮膚障害に係る原因物質について
 - (5)化学物質管理に関する事業者向けの情報提供について
- など。

●官報情報

【2012/06/14】

- ・厚生労働省告示「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件(厚生労働三九〇)」

→ <http://kanpou.npb.go.jp/20120614/20120614g00129/20120614g001290001f.html>

標記告示が掲載された。

【2012/06/18】

・第3回 今後の化学物質管理政策に関する検討会の開催について

・厚生労働省

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002d16p.html>

6月29日に標記会合が開催される。議題は、

(1)化学物質の危険有害性情報等に関する情報伝達の進め方について

(2)中間とりまとめ骨子(案)について

など。

●経済産業省

【2012/06/18】

・[安全保障貿易管理] Q&A「技術関連」 に、物質の使用の技術に関する質問・回答を追加掲載しました。

→ http://www.meti.go.jp/policy/anpo/qanda22_new.html#70

標記情報が掲載された。ヒドラジンを医薬品や農薬の製造に使用する場合等の考え方が示されている。

【2012/06/18】

・ナノ物質の管理に関する検討会 第3回計測技術ワーキンググループ 開催通知

→ <http://www.meti.go.jp/committee/notice/2012a/20120618002.html>

6月22日に標記会合が開催される。議題は、

(1)業界におけるナノ粒子の粒径計測の状況

(2)ナノサイズを含む標準粒子の計測実例

(3)現状と課題

など。

●厚生労働省

【2012/06/14】

・[平成24年6月14日食安発0614第1号]食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件について(イソキサフルトール、イマザピック、エタルフルラリン、フェンブコナゾール、フロニカミド、ペノキススラム、マンジプロパ

ミド)

→ <http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/zanryu2/dl/120614-1.pdf>

・新旧対照表

→ <http://www.ourei.mhlw.go.jp/ourei/doc/ourei/H120615I0011.pdf>

標記資料が掲載された。

【2012/06/14】

・印刷業に対する有機溶剤中毒予防規則等の遵守状況等に係る立入調査の実施について(平成24年6月12日基発0612第2号)

→ <http://www.ourei.mhlw.go.jp/ourei/doc/tsuchi/T120614K0010.pdf>

・別添

→ <http://www.ourei.mhlw.go.jp/ourei/doc/tsuchi/T120614K0011.pdf>

標記資料が掲載された。

【2012/06/18】

・第2回化学物質のリスク評価に係る企画検討会の開催について

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002d7eg.html>

6月28日に標記会合が開催される。議題は、リスク評価対象物質・案件の選定について、など。

【2012/06/18】

・食品安全委員会への意見聴取及び食品健康影響評価結果について

→ <http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/zanryu2/dl/111011-1.pdf>

標記資料が掲載された。

●環境省

【2012/06/12】

・第8回PCB廃棄物適正処理推進に関する検討委員会の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15344>

6月28日に標記会合が開催される。議題は、検討委員会のとりまとめ案について、など。

【2012/06/14】

- ・平成24年度農薬吸入毒性評価部会の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15363>

6月21日に標記会合が開催される。議題は、

- (1) 農薬の大気経路による影響評価事業の進捗状況と今後の課題
- (2) 農薬吸入毒性試験の評価と今後の試験
- (3) 毒性評価の考え方

など。

●内閣府食品安全委員会

【2012/06/11】

- ・「食品安全関係情報を更新しました」を掲載

→

http://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?keyword=%EF%BC%AC%EF%BC%A4%EF%BC%95%EF%BC%90&query=&logic=and&calendar=japanese&year=&from=struct&from_year=2012&from_month=5&from_day=19&to=struct&to_year=2012&to_month=6&to_day=1&areaId=00&countryId=000&informationSourceId=0000&max=100&sort_order=date.desc

最新2週間(5月19日～6月1日)の海外情報が更新された。食品安全総合情報システムで検索できる。

【2012/06/14】

- ・「食品安全委員会(第435回会合)の会合結果」を掲載

→ <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20120614sfc>

6月14日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、

- (1) 食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について
- (2) 平成22年度「食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補」に係るファクトシートの作成について(報告)(有機スズ化合物、フッ素樹脂、パーフルオロ化合物、本来的に食品に含まれる硝酸塩、食品に含まれる多環芳香族炭化水素(PAHs)、放射線照射食品)
- (3) 食品安全関係情報(5月19日～6月1日収集分)について

など。

【2012/06/13】

・食品安全情報(化学物質) No. 12 (2012. 06. 13)

→ <http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/2012/foodinfo201212c.pdf>

標記資料が掲載された。食品の安全性に関する国際機関や各国公的機関等の最新情報が紹介されている。

【2012/06/15】

・AEGL(急性曝露ガイドライン濃度)の設定値と設定根拠文書の要約部分の翻訳を掲載しました。

・アルシン

→ http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/aegl/agj/ag_Arsine.pdf

・一酸化炭素

→ http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/aegl/agj/ag_Carbonmonoxide.pdf

・三フッ化塩素

→ http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/aegl/agj/ag_Chlorinetrifluoride.pdf

・ジボラン

→ http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/aegl/agj/ag_Diborane.pdf

・鉄カルボニル

→ http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/aegl/agj/ag_Ironpentacarbonyl.pdf

・2,4-トルエンジイソシアネート

→ http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/aegl/agj/ag_2,4-TolueneDiisocyanate.pdf

・二酸化塩素

→ http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/aegl/agj/ag_Chlorinedioxide.pdf

・ハイドロフルオロカーボン-134a

→ http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/aegl/agj/ag_HFC134A.pdf

・ヒドラジン

→ http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/aegl/agj/ag_Hydrazine.pdf

・リン化カルシウム

→ http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/aegl/agj/ag_Calciumphosphide.pdf

標記資料が掲載された。

【2012/06/19】

- ・要措置区域等の情報を更新しました。

→ http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/chemical/soil/law/designated_areas.html

標記情報が更新された。

●中央労働災害防止協会

【2012/06/15】

- ・「平成24年化学物質関連安全衛生法令の改定について」お試し研修の開催のお知らせ

→ <http://www.jisha.or.jp/chemicals/experiment.html>

中央労働災害防止協会の技術支援部が実施する標記研修を試験的に利用できる試みが開始された。各事業者団体における安全衛生部会や労務部会の開催前又は開催後等における利用が想定される。

●海外環境協力センター

【2012/06/10】

- ・中国環境情報5月号を掲載しました。

→ <http://www.oecc.or.jp/contents/china/index.html>

標記資料が掲載された。内容は、中国政府(国務院、環境保護部)の環境政策の動き、地方(地方政府等)の環境情報、など。

●欧州化学品庁(ECHA)

【2012/06/12】

- ・The Member State Committee agrees on identification of five SVHCs and finalises 41 dossier evaluation cases

→

http://echa.europa.eu/en/web/guest/view-article/-/journal_content/59b3b3b2-a42d-477f-b3b1-0df21365e1e5

ECHAは、6月6日から8日にかけて行われた加盟国委員会(MSC)において、新たに5物質を高懸念物質(SVHC)として特定することに合意した。また、登録一式文書(Dossier)の書類審査を実施し、41件について合意した。

【2012/06/15】

• Proposal to restrict four classified phthalates under REACH not justified

→

http://echa.europa.eu/en/web/guest/view-article/-/journal_content/926431e7-3a71-4f06-b22c-9c6b54966df3

ECHAのリスク評価委員会(RAC)は、製品に含有するフタル酸エステル類(DEHP、DBP、BBP、DIBP)の現状におけるリスクは低いこと、また、既存の規制手法とそれによる使用量削減により更なる暴露量の削減が見込めることから、REACH規則のRestriction(制限)において上記4種類のフタル酸エステル類を規制することは正当ではないと結論付けた。この決定を受けて、ECHAの社会経済分析委員会(SEAC)の意見書(案)が60日間のパブリックコメントに付され、遅くとも2012年12月には最終意見が取りまとめられる。

【2012/06/18】

• Candidate List updated with thirteen new Substances of Very High Concern

→

http://echa.europa.eu/web/guest/view-article/-/journal_content/6fd1bfe8-8618-4b9b-b0ef-30234108c7f4

ECHAは、REACH規則に基づき新たに13物質を高懸念物質(SVHC)に指定した。これにより、Authorisation(認可)の対象となる物質は84物質になった。今回の指定物質は、2,5,8,11-テトラオキサドデカン、1,2-ジメトキシエタン、三酸化二ホウ素、ホルムアミド、鉛(II)=ジメタンスルホナート、1,3,5-トリス(オキシラン-2-イルメチル)-1,3,5-トリアジナン-2,4,6-トリオン、rel-1,3,5-トリス[(R)-オキシラン-2-イルメチル]-1,3,5-トリアジナン-2,4,6-トリオン、ビス[4-(ジメチルアミノ)フェニル]メタノン、N,N,N',N'-テトラメチル-4,4'-メチレンジアニリン、ジメチル(4-{(4-アニリノ-1-ナフチル)[4-(ジメチルアミノ)フェニル]メチリデン}シクロヘキサ-2,5-ジエン-1-イリデン)アンモニウム=クロリド、ジメチル(4-{ビス[4-(ジメチルアミノ)フェニル]メチリデン}シクロヘキサ-2,5-ジエン-1-イリデン)アンモニウム=クロリド、ビス[4-(ジメチルアミノ)フェニル][4-(メチルアミノ)フェニル]メタノール、(4-アニリノ-1-ナフチル){ビス[4-(ジメチルアミノ)フェニル]}メタノール。

【2012/06/18】

• The presentations from the second ECHA-Stakeholder Exchange Network

on Exposure Scenarios (ENES2) are now available

→

http://echa.europa.eu/web/guest/view-article/-/journal_content/0cfb5d09-aa37-462b-9154-f4267b51f7d

8

ECHAは、5月21日及び22日に開催された暴露シナリオに関する意見交換会(第2回)のプレゼンテーション資料を公開した。

【2012/06/18】

・ECHA calls for information to avoid unnecessary animal testing

→ <http://echa.europa.eu/information-on-chemicals/testing-proposals/current>

ECHAは、REACH規則に基づき、不必要な動物試験を回避するための試験法提案に関するパブリックコンサルテーションを開始した。対象物質は、2物質(C26-28 (even numbered) α -alkenes || Note: testing proposed with oct-1-ene (EC Number 203-893-7, CAS number 111-66-0), octadec-1-ene (EC number 204-012-9, CAS number 112-88-9), and C20-C22 (even numbered, linear and branched) and C24 (branched) alkenes (EC number 700-497-0)、 α , α -Bis[4-(dimethylamino)phenyl]-4 (phenylamino)naphthalene-1-methanol (C.I. Solvent Blue 4) [with \geq 0.1% of Michler's ketone (EC No. 202-027-5) or Michler's base (EC No. 202-959-2)]で、コメント提出期限は8月2日。

●US EPA

【2012/06/13】

・Trichoderma reesei; Proposed Significant New Use Rule

→

<https://www.federalregister.gov/articles/2012/06/13/2012-14242/trichoderma-reesei-proposed-significant-new-use-rule>

米国EPAは、TSCAに基づきTrichoderma reeseiに対して重要新規提案規則(SNUR)を交付した。コメント提出期限は、7月13日まで。

●アーティクルマネジメント推進協議会(JAMP)

【2012/06/15】

・JAMP管理対象物質リストの定期改訂予告のお知らせ

→ http://www.jamp-info.com/kanri_information/120615

6月12日に欧州化学品庁(ECHA)より、Candidate Listに収載する第7次高懸念物質(SVHC)の決定予告に関するプレスリリースがあったため、確定され次第標記リストが改訂される。

●EICネット

【2012/06/14】

- ・欧州委員会、複数の化学物質による混合物質のリスク評価を開始
- <http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=27461&oversea=1>

欧州委員会は、複数の化学物質による混合物質のリスク評価を開始し、2014年までに優先物質の評価手法を定める技術ガイドラインを策定する。また、環境や人体に影響を及ぼす混合物質に関する知見を集積するため、データ収集やモニタリングを実施した上でモニタリングデータのプラットフォームを設置することを予定している。

【2012/06/14】

- ・アメリカ環境保護庁、石油精製所のフレアスタックとプロセス加熱装置の排出基準を改定
- <http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=27459&oversea=1>

アメリカ環境保護庁(EPA)は、亜硫酸ガス、窒素酸化物、揮発性有機化合物の排出量を減少させるため、石油精製所の新規フレアスタック(煙突での余剰ガス燃焼)とプロセス加熱装置(プロセスで用いる流体の加熱)に関する大気浄化法の排出基準を改定する。

【2012/06/19】

- ・カナダ環境省、オイルサンド開発地域での魚類の水銀濃度について新たな調査結果を発表
- <http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=27506&oversea=1>

カナダ環境省は、オイルサンド(石油を含む砂岩)の開発によるアサバスカ川流域における魚類中水銀濃度の継時的な濃度上昇は認められないとする調査結果を公表した。

【NITEケミマガ】をご利用いただきまして、ありがとうございます。

- 【NITEケミマガ】のバックナンバーは、下記HPをご覧ください。

→ <http://www.safe.nite.go.jp/shiryo/chemimaga.html>

- 配信停止をご希望の方は、以下のURLをクリックして下さい。

→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

- 配信先e-mailアドレスの変更をご希望の方は、以下のURLをクリックして
配信停止手続きをしていただき、新たに配信登録をお願いします。

配信停止→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

配信登録→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_01.html

- ご意見・ご感想・ご要望等は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

chem-manage@nite.go.jp

- ・【NITEケミマガ】の転送、複写は、読者の組織内に対し全文の転送、複写をする場合に限り、自由に行って頂いて構いません。
- ・組織外への公表・転送、商用利用等につきましては、以下のメールアドレスまでお問い合わせください。

→ chem-manage@nite.go.jp

- ・発行元：独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター
- ・記事作成元：みずほ情報総研(株) 環境エネルギー第1部 環境リスクチーム